

# 競技注意事項

## 1、規則

競技は2019年(公財)日本陸上競技連盟規則、及び本競技会実施要項・申し合わせ事項によって行う。

スタートルールについては、上記規則を適用し、以下の通りとする。

- \*、不正スタートは、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。
- \*、規則第162条5「スタートにおける警告」に関しては、2019年度ルールを適用しないものとし、注意にとどめる。
- \*、小学生種目競技のスタートコマンドは、日本語でコールし、同一人が2回不正スタートをした場合に失格となる。

## 2、練習

- ① 9:15分まで競技場内での練習を、マーシャルの指示により許可する。
- ② ウォーミングアップは、競技場外周路で危険防止に十分注意して行う。

## 3、競技場・競技用靴について

- ① 本競技場は、全天候型の競技場です。
- ② 競技用靴のスパイクピンは、9mm以下を使用すること。(その他規則143条②～⑥を適用)

## 4、招集・入退場

- ① 招集所は、スタンド下屋内練習走路に設ける。
- ② 招集時間及び完了時間は下記の通りとする。

招集開始	招集完了
競技開始30分前開始	競技開始15分前完了

- ③ 招集は1回で、上記の時刻までに競技者本人(代理人は認めない)が招集所に集合し、競技者係から点呼を受ける。  
点呼を受けた競技者は競技者係の誘導・指示により、スタート位置に行く。
- ④ 招集所競技者係から、全ての競技者は、指示されている **A:『写真判定用腰ナンバーカード(黒色数字)右腰』**を受け取り、  
3000m・5000m・10000m競技は、**B:『タグ付き腰ナンバーカード(黒色以外の数字)左腰』**も受け取り着装する。
- ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなします。  
競技スタート地点に招集所の確認がなく集合した場合、出場を認められない。
- ⑥ 競技場の入退場については、競技者係及びマーシャルの指示に従う。  
レースフィニッシュ後、腰ナンバーカードを係に返却し、フィニッシュ側階段から各チーム待機場所に戻る。

## 5、ナンバーカードおよび腰ナンバーカード

- ① ナンバーカードは、胸(腹ではない)と背にしわにならないように伸ばして、四隅を確実に着装する。
- ② 競技者は、腰ナンバーカードがユニフォームの裾で隠れないように着装すること。  
3000m・5000m・10000m競技者は、左右2枚**【A・B】**の腰ナンバーカードを着装する。  
**Aは右:『写真判定用腰ナンバーカード(黒色数字)』**、**Bは左:『タグ付き腰ナンバーカード(黒色以外の数字)』**に着装する。  
腰ナンバーカードは、フィニッシュ後に外して、ナンバーカード回収係に返却すること。

## 6、3000m・5000m・10000m競技のスタート方法について

3000m・5000m・10000m競技は、すべてグループスタートを採用する。  
その場合のスタート方法は、各組の2/3までが内側スタート、残りの1/3が外側スタートとなる。  
なお、スタート10m以内には内側・外側を分離する縁石は設置しない。

## 7、記録・記録証

- ① この競技会の記録については、(公財)日本陸上競技連盟への記録公認申請を行います。
- ② すべてのレースにおいて決勝・計時記録は、写真判定(電気計時)を採用する。
- ③ 全ての種目について、記録上位の8名に競技記録を称える主催者発行の記録証を授与する。

記録集計掲示発表後、放送連絡をするので競技者本人または、代理の人が本部室へ受け取りに来てください。

## 8、競技継続について

- ① 競技運営上、必要と認めた場合、審判長は特にレース圏外の競技者のレースを中止させることがある。
- ② 競技会要項 14、①に示す失格について。

一般記録会なので、ペースメーカー(レースペースリーダー)として本競技会に参加している(周回ラップの乱高下等)と審判長判断された場合、特定競技者(団体)への助力と見なし、競技運営上他の競技者の競技に支障を生じるので、当該競技者(団体)を失格扱いとします。(144条3(a)の適用)

- ③ 競技会要項 14、②に示す競技継続打ち切りの実施について。

下記の【 】に示す時間を、その競技の最終周回通過(フィニッシュ400m前)制限の時間とする。

共通男子 …3000m【10分15秒】…5000m【15分45秒】…10000m【33分00秒】

共通女子 …1500m【5分00秒】…3000m【11分30秒】…5000m【18分00秒】

## 9、抗議

抗議申立書と預託金10,000円を添えて総務に提出。(記録結果発表後30分以内)

## 10、その他

- ① プログラムの誤表記・記載内容の訂正は、総務へ申し出ること。

なお、召集所におけるコール処理・出発編成準備のため、競技No1、は、8:45まで

競技No2、以降の競技については、該当競技No召集開始30分前までとする。

プログラムへの追加については、主催者側の未・誤編成・誤記等によるもの以外は受け付けない。

- ② 待機場所、トイレ等の競技場内外及び付帯設備の整理・整頓に努める。

(各団体・学校の顧問・指導者・代表の方へ。ゴミ・空缶等の持ち帰りの指導をよろしくお願いいたします。)

- ③ 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。主催者で責任は負わない。

- ④ グラウンドには、競技者・競技役員以外は入場を許可できません。

競技者の、フィールドを横断して競技スタート場所への往復、本部前通行は禁止とする。

待機場所・召集所・スタート・フィニッシュ地点への移動は、スタンド及び陸上競技場外周路を通ること。

チームメンバーのウェアなどを受け取りに、競技者以外がグラウンドに入ることを認めない。

- ⑤ 競技中に発生した事故などについては、応急処置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。

競技参加者は、スポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい。